

活躍人訪問



活動を続けていくことが大切だと話す安齊会長

本宮市手をつなぐ親の会
会長 安齊 勇さん

■子どもたちが地域とつながれる社会を

手をつなぐ親の会は、障がいを持った子どもたちの親が集まり、昭和62年に「本宮町手をつなぐ親の会」として、当時13人で結成されました。

同じ境遇の親御さんたちの情報交換や運営する資金集めのために、廃品回収などを行っていました。

平成元年には、障がいを持った子どもたちの支援施設として、旧五百川小学校跡地に「デイ・センターもとみや」を開所し、活動を行ってきました。

その後、子どもたちの自立支援

■私の趣味

墨絵と書道が趣味で、約40年続けています。今では自分で子どもたちに書道を教えています。

■会長の思い

親の会自体は、すばるの利用者の親だけでなく本宮市の近隣に住む方ならどなたでも、入る事ができます。親同士での情報交換の場にもなるので、参加してもらえるとうれしいです。

また「まあぶる」で働いていただけるボランティアも募集しています。

と、地元地域との交流ができる場所へのニーズが高まり、「デイ・センターもとみや」を法人化してきたのが、今の「社会福祉法人 銀河すばる」です。

現在は、えぼか、スマイルキッズパーク内に手つなぎカフェ「まあぶる」を運営し、すばるやビーボアの利用者が作ったクッキーやコースターなどの製品を販売する活動を行っています。

本宮市の皆さんを紹介するページ

みんなのひろば

■今月の人

幸田 一二さん
 KAZUJI KOUTA
 (荒井字長山)

楽になって、自由な時間がとれるようになったら1000ccのバイクを買ってツーリングをしたい。



私の随想録

過去？

「いつきてくれんの？」
 「屋根のシートはがれてんだ。今晚雨がふりそうだ」「水道がでないだ」「ボイラーがとまっちゃった。風呂に入れない」「サッシュが閉まらんない」「ガラスが割れて寒くてしょうがない」

非常事態である。屋根の頂上で、崩れた瓦にブルーシートをかぶせ土のうを載せる。一日に4、5件。はしごを上っては下り、下りては上り、雨、雪をしのぐ飯の養生をする。瓦やさんが来てくれるまでの応急処置だ。この作業の毎日が、約3カ月も続いた。社内の大工職人をはじめ、みんなでの作業にかかるが、はしごと屋根での作業の上、雪、雨の日もあり困難を極めた。みんなだんだん口数が少なくなってくる。「今日はここで終わらした。また明日にしよう」そう思いながら土のうを屋根に運ぶ。はしこの途中で夕間に混じり電話の音。ドキッとしながらも電話に出る。今日来てくれんか「はい」「ここの終わらしたら行きます」つい答えてしまう。待つてる人も皆必死なんだ。非常事態なんだ。そう思っても、沈みゆく夕日に思考の焦点が合わない。そんな事でその年が暮れるまで、応急処置、飯の養生で終わってしまった。復旧、復興どころではなかった。

そんな中でも貴重な出来事もあった。「うちは多少壊れても生活できそうだから、ひどいところを先にいかせ」「体こわさねえようにしせよ」ありがたいたのこみ上げてきて返事の言葉が出なかつた。放射能の心配があるにも関わらず現場から逃げないで黙々と全うしてくれた仲間たち。迫りくる放射能を度外視して屋根に上り続けたことを誇りに思う。

未曾有の出来事から丸3年。今は何もなかったかのように平和である。しかしあの時の不安、不自由を乗り越えて今を生きている皆の強さと、いざとなった時の頼もしさ。今輝きに満ちて思い出される。いまだに不自由を強いられる人たちがいる。簡単に過去のものとしてはならない。

◇◇◇

来月は、小松中さん(長屋字宮山)の予定です。

FM Mot.Com 秘情報

あの声は、私です...

《パーソナリティ紹介》

◆ラジオネーム：水木ノア

◆本名：非公開

◆出身：福島市

◆趣味：アルゼンチンタンゴ UFO研究

◆担当番組：水木ノアの興味SINSIN (毎月第1月曜日 午前10時～) (再放送毎月第1火曜日 午後7時30分～)

◆リスナーに一言：いろんなジャンルの情報を発信します!

本中の幼児たちが、心豊かに、生活を楽しむ事ができれば、誰も「いじめ」について心配する必要はないと考えています。

数日前のNHKのニュースで、有名大学への難関入試に合格した人へのアンケートで、幼児期に楽しく遊んだ人の合格率が一番高かったとの報告がありました。素晴らしい。



▲園庭では絵具を使った雪遊び

こどものひろば

本宮幼稚園

理事長 安井 潤

【園児数】35人
 (平成26年3月1日現在)



▲毎年恒例のクリスマスページェント(聖誕劇)

2012年は、私にとって特別な年でした。4月に初老の男性、9月に中年の男性、翌年3月には20代の女性から、「本宮幼稚園での生活は楽しかった」という同じ言葉を聞かされました。

このことを2013年の入園式の時に話したら、本宮市の教育部長さんも、本宮小学校の校長先生も本宮幼稚園の修了生で、校長先生にいたっては、「自分が楽しかったので、園児の皆さんが本宮幼稚園で楽しい生活ができることは、私が保証します」とおっしゃってくださいました。

2013年度のある日、お迎えに来られたお母さんと話していたら、「先生たちも楽しそうに保育していませんか」といつていただきました。

3〜5歳児は「あそび」が大切です。この年齢では、決して勉強の反対語ではありません。幼児たちは、温かい環境の中で、特に家庭の中で、両親の育みの中で、楽しく過ごすことで、脳の前頭葉(心豊かな人間に育つために必要な脳)が育つのです。

一人ひとりの心が豊に育てば、「いじめ」など起こる心配はありません。私は日々